

《 卓球の町“くろぎ”の創設プロジェクトに対する意見 》

● 対策

1. マスターズ卓球大会を増やしてほしい。ルールについての講習会を開いてほしい。
2. 少子化が進む中、小中学部をどう活性化するか？
3. ラージボールの普及を並行してやっていくべきだ。
4. グリーンピア八女をうまく活用する、宿泊を伴った大会を増やす。
5. ピンポンころりよりも生涯現役がよいのでは？
6. 卓球の日を設定してはどうか？
7. 各プロジェクトの組織体制の確立、育成、定着するためにはボランティアの協力体制や意見の集約のためのNPO的組織の設立など工夫すべきでないか。

● 賛成意見

1. 卓球をみんなに知らせてほしい。そして、卓球台を増やしてみんなが上手になると、黒木町が有名になると思います。
2. ピンポンは大衆向けである。今回の説明のような呼びかけは、参加者が増えるだろう。
3. 小中学生から育成することは大切なことと思います。彼らが大きくなり、愛好者や指導者として、次の世代につながると思います。
4. 個人の健康と生きがいに卓球はもっとも手軽なスポーツであるから、卓球人口をもっと増やしてほしい。(特に中高年を増やす。)

● 課題

1. ジュニアを育てる。現在黒木ジュニア1チームしかない、学校対抗の大会を開き、チーム数を増す。近くに同世代のチームがあることにより、全体のレベルアップをめざす。
2. 卓球教室が火曜日19:00~21:00の1回のみ。もっと増やせないか。回数。時間。曜日などを考えるべきだ。
3. 中学校から高校に上がる時、高校から一般に上がる時、ほとんどの人が卓球をやめてしまう。卓球を続けるように対応策を考えるべきだ。
4. 卓球での町おこしは「すごいなあ」と思います。現在の黒木住民は個人の余裕がないのでないか、体育館までが遠いとかの理由が大きいと考えます。今後の課題です。

● 質問

1. 黒木町には他に卓球大会はないのか → 大藤祭り町民大会があります。
2. スリッパ卓球大会以外ないのですか？ → 全国には温泉卓球やラリー大会等ある
3. 「卓球の町くろぎの創設」は良いことだと思いますが、果たして、研修会のプログラムのようジュニアからシニアまで人が集まるでしょうか？ → 皆さんの協力で可能
4. アメリカのことばが難しかったです。 → 日本語でわかりやすく話します。